

一年を結ぶ



軌跡

加治木高校生徒会新聞



第9号
2023.03.24.(金)

制作
下村将太郎

発行
第75代生徒会

- 一、一年を結ぶ
- 二、募金活動報告
- 三、合格体験談
- 四、言の葉

- 五、軌跡
- 六、二百字の本棚
- 七、LOGICAL
- 八、編集後記。

被災地支援募金活動

三月十六日・十七日の二日間、トルコ・シリア地震の被災地支援募金活動を行いました。協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

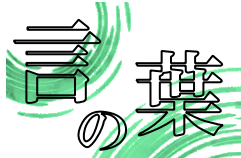
集まったお金は、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、被災地の復興支援に役立てられます。

合格体験談

三月十六日の七限目、一・二年生全員が参加して、文系・理系に分かれ、令和四年度卒業生による進路講話「合格体験談」が行われました。

今年度は、現役生・過年度生計百五十名余りが前期試験で国公立大学に合格したほか、専門学校や私立大学への進学を決めた卒業生もいます。

先輩方の合格体験に触れて、一年後あるいは二年後の受験に向けて気を新たに組みんでいきましょう。



自分が楽に生きられる場所を求めたからといって、後ろめたく思う必要はありませんよ。
サボテンは水の中に生える必要はないし、蓮の花は空中には咲かない。
シロクマがハワイより北極で生きる方を選んだからといって、誰がシロクマを責めますか。
—— 梨木香歩『西の魔女が死んだ』より

軌跡

令和四年度 加治木高校史

4月6日 始業式
 4月7日 入学式
 4月8日 対面式・新入生オリエンテーション
 4月12日 第一回学年別朝礼
 4月13日 部活動紹介
 4月16日 創立記念式典
 5月10日 吹奏楽部定期演奏会
 5月17日 生徒総会
 5月30日 教育実習開始
 6月20日 リアル職業人～文理選択ガイダンス～
 7月5日 第75代生徒会発足
 7月7日 龍門学出張講座
 7月11日 校内ビブリオバトル大会
 7月16日 前期クラスマッチ
 7月17日 前期クラスマッチ
 7月28日 コーラス部ミニコンサート
 校内英語スキット大会
 7月29日 中学生一日体験入学
 8月18日 あいら若者まちづくり会議
 9月3日 龍門祭(3・7日体育祭)
 ～11日 龍門祭(10日・11日文化祭)

10月4日 陸上部 柁城小訪問・交流
 10月5日 大学入学共通テスト100日前
 10月10日 書道パフォーマンス 国体100日前
 10月28日 芸術鑑賞会「寄席の楽しみ」
 11月11日 一日遠行
 11月22日 保健講話「心の健康について考える」
 11月30日 赤い羽根共同募金
 12月6日 始良市モラリティ・インブルーメント推進事業
 12月6日 修学旅行
 ～9日 修学旅行
 12月8日 先輩が後輩に贈る龍門講座
 12月17日 J・O・B～室内楽に載せて送る本の楽しみ～
 12月23日 クリスマスコンサート
 12月27日 3年生小論文ガイダンス
 1月14日 大学入学共通テスト
 1月15日 大学入学共通テスト
 2月7日 進路講演会
 「好きな仕事を見つけるきっかけ作り～起業という選択肢～」
 2月25日 国公立大学前期日程試験
 2月26日 国公立大学前期日程試験
 2月28日 卒業式
 3月11日 ダンス部作品発表会 Legit～最高の瞬間を今～
 3月16日 合格体験談
 3月20日 後期クラスマッチ
 3月22日 WBC 決勝観戦
 3月24日 修了式

LOGICAL

VII

前回の問題 解けない(真偽を証明できない)命題を示せ。

答え (例)「命題「この命題は偽である」は真か偽か?」

今回の問題 四人がテストの結果について話していて、全員が嘘をついている。さて、それぞれの本当の順位は?

「A…Dが一位で、僕は二位だった」
 B…僕はCよりよかったんだ!

C…Aが一位で、Dが二位だよ

D…僕が一番悪かった…」

『二百字の本棚』 萩原浩
 子供のころ、画家の母はいつも独自の美意識を押し付けてきた。呪縛から逃れようと家を出てから十六年が経ったある日、弟に促され実家を訪ねた私が見た母はある病に侵されていて…。またいつか来た道へ、帰り際の私の口からこぼれ出たのは、絶対に言わないはずだった言葉だった。

伝えられなかった言葉、忘れられない後悔。もしも、あの時に戻ることができたら……。儚く愛おしい家族の物語を描く小説集『海の見える理髪店』収録の短編。

編集後記

東京では平年より十日早く花開いた桜が、鹿児島でも開花を迎えています。気温の変化が激しかった冬も過ぎて、新しい季節がすぐそこにまで近づいてきているようです。果たして、今年の春は暖かいのでしょうか。

令和四年度が終わりました。そしてわずか二週間後には一年生は二年生に、そして二年生は三年生になります。見方によっては「当たり前のこと」ですが、少し視点をずらせば「ありえないこと」になることも。加治木高校で何をしたいのか、この春休みにまた考えてみてよさそうです。

今回の新聞では、連載記事「好きになっちゃう放課後」をお休みして、この一年間の軌跡を振り返りました。皆さんの記憶に残っている出来事はありましたか? しかし、これは執筆しながら感じたことなのですが、もしもしたならば、学校行事や大会などといった劇的な日常よりも、毎日の何気ない瞬間の方が、終わるときには感慨深いものなのかもしれませんね。

さて、今回はこの辺りで。今年度最後の生徒会新聞、第九号でした。この生徒会新聞の発行も残すところわずかとなりましたが、来年度も楽しく読める新聞を目指して発行していきます。第十号もお楽しみに。それでは、素敵な春休みを。そして、素敵な令和五年度を。
 (下村 将太郎)